

事例 3

－ 地域資源の活用 － 「100 年後も鉄道とともに あるまち」

山田エリア



与謝野駅周辺まちづくりワークショップの様子

令和7年7月に開業100周年を迎える与謝野駅。今、山田エリアでは100周年を契機として、地域・事業者・行政がそれぞれの強みを生かしながら、鉄道、まちの玄関口の駅、空き家など、地域資源を生かしたまちづくりによる地域活性化が進められています。



与謝野駅で開催されたイベントの告知チラシ

住み心地のよい地域へ

わたしたちの暮らしは、一人ひとりの志や強み、得意を生かした活動や取り組みに支えられています。「誰かがやっている」まちづくりから「わたし（たち）にもできる」まちづくりへ。

助け合い、支え合う豊かな関係で、住み心地のよい地域を守っていきましょう。